

ここが曖昧だよ!日本 — 日本語の不思議な表現 —

ゴ・カミン

皆さん、こんにちは。今日は、日本語を学んだときに感じた、日本語の曖昧さについてお話ししたいと思います。私が日本語を学んだ時、意見をはっきりと伝える中国語や英語とは違い、日本語の「曖昧さ」にたびたび驚(おどろ)かされることがありました。

一番私の印象に残っている言葉は「結構」という表現です。この言葉は私が好きなアニメの中でもよく使われています。しかし、この言葉は、使う場面によって三つの意味も持っていることを皆さんはご存じでしょうか？

一つ目は「問題ない」(No problem)という意味です。例えば、美容院で「この長さでいいですか?」と聞かれたときに「結構です」と答えると、「この長さは大丈夫です」というニュアンスになります。このように、相手の提案や選択肢を受け入れるポジティブな意味で使われています。

二つ目は「いりません」(No thank you)という意味です。例えば、レジで「袋はいりますか?」と聞かれて、「いいえ、結構です」と答えた場合「袋は必要ありません」ということになります。このように、相手の申し出を断る際に使われる場合は、少し冷たい印象を与えることもあります。

三つ目の意味は「かなり」(quite)です。例えば、「結構時間かかるね」というとき、それは「思ったよりも時間がかかっている」という意味です。また、結構高い、結構上手のように、程度を強調する表現としても使えます。

この「結構」という表現の曖昧さを体験したエピソードを一つ紹介したいと思います。ある日、日本の友達からお菓子をたくさんもらいました。私はその嬉しさを伝えたくて、「結構でした!ありがとうございます!」と言ったのですが、どうやら友達には「いらない」と断ったように伝わってしまったようで、少し気まずい雰囲気になってしまいました。後日、誤解だったと分かり、お互いに笑い話にはなったのですが、そのときの友達の驚いた表情を見て、日本語の表現の豊かさに気づかされました。日本語の曖昧さは、時にコミュニケーションを難しくすることがありますが、それもまた日本語の魅力だと感じます。

最後に、今回お話しした「結構」という言葉の複数の意味を取り入れた早口言葉を言って締めくくりたいと思います。

ではいきます、

キャット(cat)に結構!言われても、結構な格好だから結婚したい

キャット(cat)に結構!言われても、結構な格好だから結婚したい

キャット(cat)に結構!言われても、結構な格好だから結婚したい

以上です、ご清聴ありがとうございました。